

あったかウェルねっと



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク あったかウェルねっとニュース 第1号

2004年7月13日発行

ホームページ <http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Gaien/7815/>

彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修も5年目を迎え、区切りの年となります。これまではネットニュースとして電子メールで配信してきましたが、A4版の紙面に模様替えして、新たに「あったかウェルねっとニュース」としてスタートすることになりました。どうぞよろしくお祈いします。

事務局より、年度初めの一大イベントである総会＆研修会の報告が届きました。今年度も活躍の場が広がりそうです。総会に出席できなかった推進員の方々にも役立つ情報ばかりです。是非、内容をご確認ください。

平成16年度あったかウェルねっと 総会＆研修会報告



あったかウェルねっと総会

5月8日(土)彩の国すこやかプラザにて『総会』を開催。県社協友永孝浩部長の祝辞からは、「あったかウェルねっと」が県内の関係機関から注目されていることが伺われ、推進員活動への期待をひしひしと感じました。

前年度の報告に続き、今年度の坪井敏衛代表より、世話人・規約・事業計画・予算が提案され、出席者(40名)全員の承認を受けて「平成16年度あったかウェルねっと」がスタートしました。皆様のご協力をよろしくお祈いいたします。

総会後の研修会

総会後に開催した『研修会』は、グループ毎の情報交換で始まり、テーマは「福祉教

育・ボランティア学習推進への「夢」を語り合おう。どのグループも笑顔がいっぱいになりました。

続いて、講師を引き受けてくださった、天野宗和氏(埼玉県立精神保健福祉センター精神保健部長)による、講演「心病む人への理解」とグループディスカッションで、「地域で何ができるか考えてみよう」は、地域で『心の病を理解する』ことの大切さと福祉課題について学び合いました。



平成16年度の主な事業について

推進員向けには...

今年度は、近隣市町村が協力しあい、『体験別;教員向け福祉教育研修プログラム案』の作成など、推進員が活動しやすい状況を展開させながら、連携を広げていく。

《理由》その1

県内は広域すぎるので近隣の推進員が活動しやすい状況をつくる。

《理由》その2

教員対象の福祉教育研修の講師依頼が増えてきた。そこで、『体験別研修プログラム案』を作成し、大人向けにも「福祉教育・ボランティア学習」を推進していく。

《テーマ》

「障害と自立・コミュニケーション・支援について学びあい、ノーマライゼーション社会の構築をめざしていく」
(障害理解・生活支援の道具や工夫・社会生活の支援・誰にも使いやすい技術など)

障害理解の注意点

それぞれの障害の中で「できない」より「しにくい」という状態の人が多いということをお忘れではない。

また障害を得た年齢、環境、程度により障害

感が違う。つまり100人いれば100人の状態の違いがあり、その中の一人をモデルとしてプログラムを組む場合、それはその人個人のケースであり、その障害全般を伝えるものではないということに留意することが必要となる。

また、障害の重複化を考慮し、障害を分類・個別化しすぎないようにすることも大切である。

推進員以外に向けては...

1. 推進員以外の県民にも呼びかけ、福祉教育・ボランティア学習への理解・啓発を目的に「彩の国福祉教育・ボランティア学習推進2004」を開催する。
2. 推進員以外の学習援助者サポート事業《随時》*外部団体からの依頼に講師を派遣。

事務局より

さて、「平成16年度あったかウェルねっと」は、新しい世話人が加わり元気にスタートしました。微力な事務局ですが、さらに精進してまいりますので、今年度も皆様からのご支援とご協力をよろしく願います。

あったかウェルねっとは、ゆるやかに且つ円滑に運営できるよう、世話人会を随時開催しています。

世話人会は、常に、開かれた場ですので、世話人の他に、ネット活動に関心がある会員は誰でも参加することができます。みなさまのご参加をよろしく願います。

推進員は、いつでも年会費1,000円を納入すれば、「あったかウェルねっと会員」になれます。一人でも多くの推進員のご加入をお待ちしています。事務局までご連絡ください。

世話人会報告

メーリングリスト開設

誰でも、いつでも『教えてメール・手伝ってメール・お知らせメール』等、会員相互の情報交換ができるよう「あったかウェルねっとメーリングリスト」を開設しました。

【ねっとMLの管理について】

ねっと情報担当の須田正子様、県社協ボランティア振興課の高木義昭様をお願いいたしますし

た。

【ねっとMLの登録について】

登録を希望する会員は、下記までメールアドレスをご連絡くださいますようお願いいたします。

管理人 須田正子

E-mail : masako-s@tcat.ne.jp

県社協 高木義昭

E-mail : takagi@fukushi-saitama.or.jp

第5期推進員養成研修の協力依頼について

県社協主催の平成16年度「福祉教育・ボランティア学習推進員(第5期)養成研修」への協力依頼がありました。世話人会で内容と役割分担を決めています。

一日でも協力できる方は、事務局横田(049-281-3161 or 090-1454-2924)までご一報ください。

なお、詳細につきましては、県社協(担当は高木さん)宛てに、お問い合わせくださいますようお願いいたします。

- (第5期)養成研修の概要 -

イ) 8/2(月) 15:30~17:00(彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール)

【疑似体験のイロハについて】

*講師;彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

*体験グッズの使用法や初歩的な体験方法の手法を学習

(12:30~15:00の間に内容の最終確認とリハーサルを行います。)

ロ) 8/3(火) 9:30~16:30(県民健康センター大会議室)まち探検のアシスタント

ハ) 8/6(金)と8/11(水)は、午後のプログラムに協力

講師派遣の依頼について

平成16年度公立中高校の学校支援人材バンクの登録先から講師派遣の依頼があり、世話人会で協議の上、内容と担当について下記のように決まりました。

記

*依頼元;県高校教育指導課

*日時;8月30日

*時間;1~2時間ほど

*対象者;県教育委員会のボランティア学習関連の重点事業である「なかなかやるな中学生、もっとがんばる高校生」の推進委員会(事業の委託を受けている高校の生徒と引率の先生)

* 内容；ボランティア活動についての経験談等（40分）、聴覚障害者による講話と手話の導入についての指導（50分）

今年度のねっと主催事業について

昨年、一昨年と続けて開催してきたねっと主催事業ですが、今年度の「彩の国福祉教育・ボランティア学習推進2004」を提案します。

事業名：未定（現在、募集中です。みなさまからのご提案をお待ちしています！）

（例）「ほっと！ホット！彩の国から全国に出会いを発信！発進！」など

開催日：11月13日(土)14日(日)15日(月)

開催場所：第4回全国障害者スポーツ大会ふれあい広場「熊谷スポーツ文化公園」

内容：【第4回全国障害者スポーツ大会ふれあい広場に出店し、全国からの来場者との福祉交流を楽しむ】

出店内容：【展示・広報】（芸術作品、事業PRポスター・資料パンフ、その他）

【主な展示物名、PR内容について】

イ) 安藤謙一作品の絵画数点や茂原君子選手時代の写真などを展示

ロ) あったかウェルねっと活動の展示と活動紹介のチラシの配布など

ハ) ほっと！ホット！休憩・交流コーナー（ミニ体験）

来場者と交流しながら障害理解につなげる（但し、福祉交流がメイン）

* ankenさんと絵を描こう！（安藤さんは3日間参加予定）

* 車椅子スラローム金メダリストの茂原さんと遊ぼう！（茂原さんは3日間参加予定）

* まっちゃんの‘季節のフルーツ’をどうぞ！（松嶋さんは1日参加予定）

* 石川さん古庄さんから手話交流の手ほどきを！（石川さんは2日、古庄さんは1日参加予定）

* ミニ体験しながら‘お茶とお菓子’をどうぞ！（参加できる会員と世話人が交替で担当）

* その他（推進員に参加を呼びかけ、交流メニューを充実させていく）

埼玉県内の中学校・高校に、開催のお知らせチラシを配布して参加を呼びかける。

未定項目がたくさんあります。みなさまからのご意見やご助言、ご協力などをお願いします。

次回世話人会のお知らせ

次回世話人会の開催をお知らせします。

開催日時：8月2日(月)彩の国福祉教育 in セミナー終了後（12：30～15：00）

開催場所：彩の国すこやかプラザ会議室

昼食を用意しますので、出席できる方は、事務局横田までご連絡ください。お待ちしております！

.....連絡先.....

あったかウェルねっと事務局 横田八枝子

E mail : y-yae@xf7.so-net.ne.jp

Tel & Fax : 049 - 281 - 3161

埼玉県社協より、選りすぐりの情報が届いています。参考にしてくださいね。

埼玉県福祉教育・ボランティア学習 関連事業検討委員会について

埼玉県社協では、平成12年度より「県福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修」を中心に、地域で豊かな福祉教育実践が展開されることを目指して事業を行ってきました。

これらの事業も開始から5年が経過しており、各地域で様々な成果が見られるようになってきました。一方で、地域間格差などの課題も見られるようになってきています。

そこで、日本福祉大学の原田正樹助教授に委員長をお務めいただき、標記委員会を設置しました。委員会では、これまでの課題を洗い出し、よりよい制度を作るための議論をはじめたところです。是非、皆様も日ごろの活動を通じて感じていることなど、ご意見をお寄せください。

第5回埼玉県福祉教育・ボランティア 学習推進員養成研修の開催について

埼玉県社協では、今年度も「福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修」を開催

します。

期日は8月2日、3日、6日、10日、11日の5日間です。今年度は約70名の受講者が研修を受講し、皆様のお仲間に加わります。これからは、新しい推進員さんとも一緒に、地域での活動に取り組んでください。

福祉教育セミナーin 彩の国開催

毎年恒例の「福祉教育セミナーin 彩の国」が今年も開催されます。

今年は、「地域を基盤とした福祉教育を進めるために」と題して、日本福祉大学の原田正樹助教授にお話をいただきます。福祉教育に限られた空間、時間に限定して行われているケースも多いのではないのでしょうか。

誰もが安心して暮らせる社会を目指して、地域に根ざしたより豊かな福祉教育を推進するにはどうすればよいか、ヒントをいただけるものと思います。定員にはまだまだ余裕がありますので、皆様ぜひご参加ください。

すべての子どもが共に学ぶための支援プログラム事業について

埼玉県では、ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進するため、障害のある児童・生徒が地域の小中学校等で共に学習することを可能とする「支援籍制度」を創設し、全県的な普及を図ることとしています。そのためには、地域で障害児・者を理解し、支援する体制が必要です。標記事業は、この考えの基に県社協及び実施希望の市町村社協が、障害児・者に係る地域のボランティア活動の裾野を広げる事業を行うものです。

この事業が目指すものは、我々が大切にしている「共に生きる」という視点と共通しますね。

彩の国教育改革アクションプランについて

昨年度制定された「埼玉県地域福祉支援計画」に埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員が位置付けられたことについては以前もお伝えしたと思います。埼玉県においては、地域福祉を推進するための柱として、“総合的

な福祉教育の推進”を掲げています。そのための施策の1つとして、推進員を継続して養成し、様々な機関と連携を図りながら福祉教育を進めていくという内容が盛り込まれました。

一方で、埼玉県教委が策定した「彩の国教育改革アクションプラン(平成16年度版)」でも、福祉教育・ボランティア学習推進員が位置付けられています。このプランは、21世紀をたくましく生きる子どもたちの育成を目指し、県教委が今後の施策の方向性をまとめたものです。

この中で、「地域ぐるみで教育活動を支援する」という項目の中に推進員養成研修が位置付けられ、今後も推進員の養成及び活用の促進を目指すこととされています。

このような計画やプランの中で位置付けられるということは、推進員の地域での活動が評価され、期待が高まっているということですね。

ホームページをご覧いただけましたか？

彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワークホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Gaia/n/7815/>

あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well Being(幸福)のWell(大切にという意味)です。私たちのネット愛称には、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたいとの願いが込められています。

編集後記

ねっとニュースが印刷版に変身しました。今まで同様よろしくお願ひします。みなさんからの情報も、どしどしお寄せください。(S)

発行

彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク事務局

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田4-7-12-504

横田八枝子 (TEL&FAX: 049-281-3161)

(e-mail: y-yae@xf7.so-net.ne.jp)

協力

埼玉県社会福祉協議会 埼玉県ボランティアセンター

担当:高木 (TEL: 048-822-1192 FAX: 048-822-1449)

(e-mail: takagi@fukushi-saitama.or.jp)

編集

あったかウェルねっと世話人会(情報担当)